～ピアサポートだより～

clover クローバー

公益財団法人
やまがた健康推進機構
山形県がん総合相談支援センター
TEL023-688-6511
E-mail:soudan@yamagata-yoboujp

2020年9月発行　第3号

朝晩だいぶ過ごしやすく感じられるようになりました。
新型コロナウイルス感染予防で、自粛規制はいつまで続くのか、経済はどうなるのかなど、不安の中で令和2年度が始まりましたが、ようやく6月からピアサポーターサロン「クローバー」を開催することができました。以前のような日常生活にはまだまだ戻れませんが、今年度もピアサポート事業をスタートすることができホッとしております。

山形県がん総合相談支援センターでは、今年度から、山形、庄内、最上、米沢、南陽の5か所の検診センターにがん相談窓口を開設しました。病院外の窓口として、身近なところで、気軽に相談できる相談支援センターに一歩近づけたように思います。みなさんのご利用をお待ちしております。

サロン編

6月から、やっと「クローバー」を開催することができました。
マスク、三密を避けるなど制限の多いサロンとなりましたが、
山形、庄内とも沢山の方の参加がありました。熱心に傾聴し気持ちを共有しようとするピアサポーターの姿に

「やまがたピアサポート　私たちがめざす4つの目標」

① みんなで「寄り添い 助け合う やまがた」をつくりましょう
② ピア同士のネットワークを広げていきましょう
③ 正しい知識と情報を持ちましょう
④ がん検診の大切さを伝えていきましょう

に近づいていると感じました。これからの活動がより楽しみです。

サロンの感想

・初めて参加された方も、ピアの方とお知り合いだったので積極的に話に参加されていました。話の中で進行役が一般参加者の質問に対する意見をピアサポーターに求める場面があったり軌道修正がうまくできていたように思います。
・昔の山形の街並みなどたわいもない会話も笑顔で盛り上がり、楽しいと思ってもらえるなら、それも意味があることだと感じました。

研修編

令和2年8月23日、南陽文化会館で
ピアサポーター養成講座（基礎編）が行われ
10名の方が新たに受講されました。
鈴木牧子先生の講義を熱心に聞いている姿に、
ピアサポートへの熱意を感じました。来年は最上地区開催予定です。

サロンの感想

・グループワークがとても有意義で患者や家族からの目線を知るいい機会になりました。
・その人の立場になって考える事は難しいですが、患者、家族の立場色々な話が聞けて良かったです。「私は一人じゃない」って事が、実感できました。

ピアサポーターの活動紹介

ピアサポーターそれぞれが、他にどんな活動をされているのか、皆さん知りたくはありませんか。
資格を持って活動されている方、地域に根差した活動をされている方など色々です。
ピアサポーターの知識も活かしながら、前に一歩、積極的に歩まれています。

齋藤（成）さん 子供食堂

参加者	子供・大人
開催日時	2回/月　1年前から

・農協、商店などのお手伝いをいただき、
食材を提供してもらい、毎回 30~40 人の
食事を作っています。

大友さん 茶話会(地区カフェ)

参加者	平均 80 歳以上の方 20 名前後
開催日時	1 回/月　2 時間程度

・家族ががんに罹患している方もいて、
相談にかかわります。
・養成講座を受講している人が多いと、
認知症サポーターのように地域がやさしく
なるように思います。がんの理解が不安解消に
なります。

お知らせ

山形県がん総合相談支援センター
相談室にはがんに関連した
いろいろな書籍があります。
病気について、栄養について、
精神腫瘍学について、また、がんや
命を扱った絵本もあります。図書館のような品揃えでは
ありませんが、サロンの帰りなど立ち寄ってご覧ください。
ご希望があればお貸しできます。
正しい情報を集め正しい知識を身につけていきましょう！

これからのピアサポーター事業予定

・9 月 27 日（日）ピアサポーター研修①（スキルアップ）　山形テルサ
・10 月 31 日（土）ピアサポートオンラインセミナー　自宅又は山形検診センター内
・令和 3 年 3 月 14 日（日）ピアサポーター研修②（交流会）　霞城セントラル

お願い

事前にご案内を郵送いたしますので、日時、場所のご確認をお願いいたします。

編集後記

ピアサポーター便り 3 号をお送りすることができ安堵しております。山形県内、すべてのがん診療連携拠点病院でサロンが行われ、山形県がん総合相談支援センターの卒業生が、それぞれの居住地域で活躍することを夢に見て、次回 4 号に向けて取材頑張ります！（R）